

平成25年度施策評価調書

整理番号	25
評価担当課	都市整備課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	市民と協働による雪対策の確立		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	14	雪を活かした雪に強いまちづくりの推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	除排雪事業の効率的・効果的な除排雪体制を確立し、市民の理解と協力を得ながら協働による雪対策を進める。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	除排雪作業は、業者委託により進めています。市民向けの除排雪助成事業、交差点排雪を実施しています。
施策の課題	高齢化が進み市民ニーズが年々多様化している中、行政だけで除排雪事業の継続が困難な状況となっている。そのなかで、市民と業者と行政の協働による雪対策を進め、除排雪に関する市民の周知など広報活動を行っている。また、課題である雪堆積場の確保や大雪対策を現在進めています。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度(28年度)
排雪ダンプ助成事業	10tダンプ1台につき一般住宅は2,000円、店舗併用住宅は1,000円の助成	目標値	5,000	5,000	5,000	37,296
		実績値	1,489	5,236	8,378	
		進捗率	30%	105%	168%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	自助・共助・公助のバランスが必要なため、今後はより一層見直しを進めている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

除排雪事業の効率的・効果的な方向性を進める。

6 外部評価の意見等

1次評価のとおり。

7 2次評価の意見等

市民、民間、行政が役割分担を果たしながら施策を展開しており、今後においては、大雪に備え、さらなる協働の推進が必要。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	排雪ダンプ助成事業	市民の自己負担による排雪の助成	16,184	a	a	b	b	b	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--